(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 4 月 18 日

佐賀県知事 山口 祥義 殿

提出者

住 所 佐賀県佐賀市大和町大字川上5244-1

氏 名 野田建設株式会社

代表取締役 野田 直嗣

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0952-62-0040

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	. (か	名	称	野田建設株式会社
事	業	場	の	所	在	地	佐賀県佐賀市大和町大字川上5244-1
計		画		期		間	令和7年4月1日~令和8年3月31日
当該	亥事美		にま	3617	て現り	に行	っている事業に関する事項
	1	事	業	の	種	類	06 総合工事業
	2	事	業	の	規	模	完成工事高 5億2千3百万円
	3	従	보 기	美	員	数	31人
					の <i>-</i>)エ		別紙のとおり

(日本産業規格 A列4番)

		管理体制に関する事項								
	(管理体制図)									
	別紙のとおり									
産業	美廃棄物の排出の抑制 「	に関する事項 -								
		【前年度(令和 6 年度	:)実績】							
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり						
		排出量	t	t						
	①現状	(これまでに実施した取組)								
		・排出抑制に留意し、工法や手順を選択する。								
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり						
		産業廃棄物の種類 排 出 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t						
	②計画		t							
	②計画	排出量	t							
	②計画	排出量	t 组)							
	②計画	排出量(今後実施する予定の取締	t 组)							
産業	②計画 ②計画 	排 出 量 (今後実施する予定の取締・排出抑制に留意し、工済	t 组)							
産業		排 出 量 (今後実施する予定の取締・排出抑制に留意し、工済	t 组)	t						
産業	 	排 出 量 (今後実施する予定の取締・排出抑制に留意し、工済を事項 (分別している産業廃棄物	t 組) 法や手順を選択する。 勿の種類及び分別に関する	t 3取組)						
産業		排 出 量 (今後実施する予定の取締・排出抑制に留意し、工済	t 出) 去や手順を選択する。 あの種類及び分別に関する 属、木くず、紙くずは、名	t 5取組) 分別・保管している。						
産業	 	排 出 量 (今後実施する予定の取得) ・排出抑制に留意し、工業 る事項 (分別している産業廃棄等) ・廃プラスティック、金別・現場から収集運搬の際で	t 出) 法や手順を選択する。 勿の種類及び分別に関する 属、木くず、紙くずは、分別しやすい工程で作	t る取組) 分別・保管している。 作業をする。						
産業	 	排 出 量 (今後実施する予定の取得) ・排出抑制に留意し、工業 る事項 (分別している産業廃棄等) ・廃プラスティック、金別・現場から収集運搬の際で	t 出) 去や手順を選択する。 あの種類及び分別に関する 属、木くず、紙くずは、名	t る取組) 分別・保管している。 作業をする。						
産業	 	排 出 量 (今後実施する予定の取得) ・排出抑制に留意し、工業 る事項 (分別している産業廃棄等) ・廃プラスティック、金別・現場から収集運搬の際で	t 祖) 法や手順を選択する。 勿の種類及び分別に関する 属、木くず、紙くずは、名 は、分別しやすい工程で何 業廃棄物の種類及び分別に	t る取組) 分別・保管している。 作業をする。 こ関する取組)						

ら行う産業廃棄物	の再生利用に関する事項										
	【前年度(令和 6 年度)	実績】									
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり								
	自ら再生利用を行った	文 **									
①現状	産業廃業物の重 (これまでに実施した取組)	t <u> </u>	-								
		,									
	・特になし										
	【目標】	【目標】									
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり								
	自ら再生利用を行う										
②計画	産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t									
	・特になし										
ら行う産業廃棄物	の中間処理に関する事項										
	【前年度(令和 6 年度)実績】										
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり								
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	4									
() TH (1)	自ら中間処理により減量した	t									
①現状	産業廃乗物の量 (これまでに実施した取組)	t)									
		,									
	・特になし										
	1111 010										
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり								
	自ら熱回収を行う										
	産業廃棄物の量	t									
②計画	産業廃棄物の量	t									
	(今後実施する予定の取組))									
	・特になし										
	・村になし										

り11 ノ生未用来物	の埋立処分又は海洋投入処分に関	9つ争垻	
	【前年度(令和 6 年度)	実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	
	(これまでに実施した取組・特になし)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	
業廃棄物の処理の	特になし委託に関する事項【*** (全和 C	公生	
	【前年度(令和 6 年度)		Hiller of Labora
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量 優良認定処理業者への	t	
	処理委託量	t	
	再生利用業者への 処理委託量	t	
①現状	認定熱回収業者への 処理 委託 量	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	
	(これまでに実施した取組)	

(第5面)

	【目標】							
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり					
	全処理委託量	t	t					
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t					
	再生利用業者への 処理 委託 量	t	t					
②計画	認定熱回収業者への 処理 委託 量	t	t					
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	t	t					
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定業者、再生利用業者へ委託処理する。 ・委託業者には定期的に現地確認を実施する。 ・電子マニフェストの運用開始(R1.3~)運用実績を増やしていく。							

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
 - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
 - 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
 - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																	
	【前年度(令和 6 年度)実績】																
①現状	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	0200 汚泥	0700 紙くず	1200 金属くず	* 0600 廃プラスティック類										
	排出量	1151.878 t	144.265 t	2.805 t	1.740 t	5.085 t	35.665 t	t	t	t	t	t	t	t	t	. t	t
	【目標】																
②計画	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	0200 汚泥	0700 紙くず	1200 金属くず	* 0600 廃プラスティック類										
	排 出 量	950.000 t	125.000 t	2.500 t	1.500 t	4.500 t	30.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

(第3面)

自ら行う層	産業廃棄物の再生利用に関	する事項														
	【前年度(令和 6 年度)実績】															
①現状	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	0200 汚泥	0700 紙くず	1200 金属くず	1 0600 廃プラスティック類									
	自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t t	t	t	t	t
	【目標】	【目標】														
②計画	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	0200 汚泥	0700 紙くず	1200 金属くず	* 0600 廃プラスティック類									
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t t	t	t	t	t
自ら行う層	産業廃棄物の中間処理に関	する事項														
	【前年度(令和 6 年度	【前年度(令和 6 年度)実績】														
	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	0200 汚泥	0700 紙くず	1200 金属くず	* 0600 廃プラスティック類									
①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	: t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	: t	t	t	t	t
	【目標】															
	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	0200 汚泥	0700 紙くず	1200 金属くず	1 0600 廃プラスティック類									
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	: t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

(第4・5															
自ら行う産	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項														
	【前年度(令和 6 年度)実績】														
0.77.15	産業廃棄物の種類 1500 がれき類 0800 木くず 0200 汚泥 0700 紙くず 1200 金属くず 0000 第プラスティック類														
①現状	自ら埋立処分又は 洋投入処分を行った 業 廃 棄 物 の 量 0,000 t 0,000 t 0,000 t 0,000 t 0,000 t t t t	t													
	【目標】														
0.11	産業廃棄物の種類 1500 がれき類 0800 木くず 0200 汚泥 0700 紙くず 1200 金属くず 0000 単プラスティック類														
2計画	自ら埋立処分又は 軽洋投入処分を行う 業 廃 棄 物 の 量 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t t t t	t													
産業廃棄物	処理の委託に関する事項														
	前年度(令和 6 年度)実績 】														
	産業廃棄物の種類 1500 がれき類 0800 木くず 0200 汚泥 0700 紙くず 1200 金属くず 0000 第ブラスティック類														
	全処理委託量 1151.878 t 144.265 t 2.805 t 1.740 t 5.085 t 35.665 t t t t t t t t t t	t													
	優良認定処理業者への 処理委託量 259.888 t 130.680 t 0.000 t 1.740 t 5.085 t 35.665 t t t t t t t t t t t t t	t													
①現状	再生利用業者への 処理 委託 量 1151.878 t 144.265 t 2.805 t 1.740 t 5.085 t 35.665 t t t t t t t t t t t t t t t t t t	t													
	認定熱回収業者への 処理 委託量 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t t t t	t													
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 0,000 t 0,000 t 0,000 t 0,000 t 0,000 t 0,000 t t t t	t													
	[目標]														
	産業廃棄物の種類 1500 がれき類 0800 木くず 0200 汚泥 0700 紙くず 1200 金属くず 0000 第プラスティック類														
	全処理委託量 950.000 t 125.000 t 2.500 t 1.500 t 4.500 t 30.000 t t t t t t t t t t	t													
	優良認定処理業者への 処理 委託量 285.000 t 112.000 t 0.000 t 1.500 t 4.500 t 30.000 t t t t t t t t t t t t t	t													
②計画	再生利用業者への 処理 委託量 950.000 t 125.000 t 2.500 t 1.500 t 4.500 t 30.000 t t t t t t t t t t t t t t t t t	t													
	認定熱回収業者への 処理委託量 t t t t t t t t t t t t t t t t t t t	t													
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 t t t t t t t t t t t t t t t t	t.													

④産業廃棄物の一連の処理の工程

R6 野田建設(株)



